

競技会実施について主催者の対応

<第45回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳大会大阪府予選会>

入場について

・各チームの集合について大阪水泳学校前は住居のため駅付近でお願いします。

・外からのウィルス持ち込み予防のため施設入口での手指の消毒の設置

※入館時に「健康チェック表」**団体票**（チームで1枚）引率コーチは1名のみ

個人票（1人1枚）を確認し受理する。

入館時に再度検温

① 待機場所について

・事前に公式ホームページに記載。

② ウォーミングアップについて

・常にソーシャルディスタンスを保つ。

・スタート練習は、アップの人数で調整し、並ぶ人数を制限し、少なくとも1m以上の間隔を保ち、会話しないように指示をする。開けて並ばせる。（ソーシャルディスタンス）

③ 招集について

・サブプール片面プールサイドをフルに利用して行う。

・出場種目ごと放送により、案内する。

招集所では必ずマスクを着用すること。

レーンにつく時に外しますのでマスクケースを用意すること。

④ 選手は競技出場後、速やかに退館する。

⑤ トイレの使用について

・トイレ使用は、密集を避け間隔を取って待つようにしていただく。

・使用後は、石鹼での消毒をお願いする。

⑥ 施設の管理

・定期的に換気

・ドアは極力開けておく、消毒を定期的に行う。

・更衣室の巡回、換気と消毒。

⑦ 体調不良者が出た発生した場合

・第一発見者が本部に連絡し、傷病者を医務室に速やかに誘導

・対応役員は極力少人数で行う。

・発熱者が出た場合は隔離できる場所を確保する。

※熱中症にも注意をばらう。

⑧ 飲食について

- ・ドリンクの回し飲みはしないこと。

飛沫感染防止対策として食事時のソーシャルディスタンスを保ち、アルコール消毒の徹底、館内での食事は新型コロナウイルス感染症防止を徹底する。

⑨ 競技役員

- ・入館の際には検温、手指の消毒、体調の確認をする。
- ・入館時に各日とも「健康チェック表」**個人票**を各自提出
- ・控室も密にならないようにする。審判中は可能な範囲でマスクを着用する。
- ・競技役員交代時に、トランシーバ・ストップウォッチ・マイクなどの消毒を行う。

<お願い>

大阪水泳学校 周辺道路は駐車禁止です。

会場前の道路は狭く非常に危険ですので、公共交通機関をご利用ください。

